

一〇〇年前ここから見た広小路通

当時の官庁街と周辺のまちなみ（現在地付近から北東方面）

明治四十年（一九〇七）、広小路の栄町にあった旧名古屋市役所が火災で焼失しました。その後、明治四十二年（一九〇九）に現在の中区役所の位置に移転されました。この周辺には、当時愛知県や名古屋市の官庁が集まっていました。

左の写真の手前に見える屋根は名古屋市役所の一部で、広小路通と武平通の交差点の

北東には西から愛知県会議事堂、愛知県庁舎がありました。交差点の中心には日清戦争の戦死者記念碑がおかれ、その脇を名古屋電気鉄道株式会社の「チンチン電車」と呼ばれる路面電車が走っていました。以後、名古屋市役所は昭和八年（一九三三）、三の丸の現在地に移転するまで使用されました。



現在地付近から北東を見た、明治末期から大正初期頃の官庁街。手前に見える屋根は名古屋市役所の一部。県会議事堂前の建物は県庁別館。（写真提供 名古屋市市長室広報課）



現在地付近から南を見た、かつての名古屋市役所。（写真提供 名古屋市市長室広報課）